


京都工芸繊維大学（松ヶ崎） 2号館南棟西側外壁改修工事

質 疑 回 答 書（設 計 図 書）

京都工芸繊維大学施設環境安全課				
課 長	副課長	係 長	主 任	係 員
				

質 疑 回 答 書 (設 計 図 書)

令和8年6月12日

工事名 京都工芸繊維大学 (松ヶ崎) 2号館南棟西側外壁改修工事

No.	質 疑 事 項	回 答
1	足場についてはクサビ締結型足場でも構いませんか？	手すり先行方式であれば、クサビ締結型足場としてもよいです。
2	タイルひび割れ補修に関して、JKラビング工法と指定されておりますが、同等品以上であればJKラビング工法以外でもよろしいでしょうか？	JKラビング工法（水性）同等品以上としてください。
3	タイル面保護塗料ですが、、10年保証が担保されれば同等品以上であれば、JKコート以外の工法(材料)でもよろしいでしょうか？	JKコート（日本樹脂施工協同組合）同等以上としますが、オール水性（シーラーから水性）が担保された工法選定としてください。
4	ドライエリア撤去・復旧について C-C断面 FB-50×12 □-1.2×50×50 鋼板（ア）1.2 母屋C-60×30×10×1.6 等はすべてビス留めかボルト止めでしょうか？ また、ラワン合板と鋼板もビス留めでしょうか？	FB-50×12と□-1.2×50×50の固定はビス固定、鋼板・合板と母屋C-60×30×10×1.6はビス固定、L-6×75×75と母屋C-60×30×10×1.6はボルト固定となります。
5	ドライエリアについて B-B断面詳細図がありませんがご教示願えますか？	B-B断面図はなしとしてください。

質 疑 回 答 書 (設 計 図 書)

令和8年6月12日

工事名 京都工芸繊維大学 (松ヶ崎) 2号館南棟西側外壁改修工事

No.	質 疑 事 項	回 答
6	ドライエリア鋼材塗装について C-60×30×10×1.6 L-6×75×75について立面図では塗装指示ありますが、母屋部材もすべて塗装でしょうか？ 母屋C60×30×10×1.6長手方向部材およびあ断面FB-50×12の設置間隔もしくは本数をご教示願います。	母屋も塗装範囲とします。 母屋 (C60×30×10×1.6) 長手方向部材の設置間隔もしくは本数：9本 あ断面 (FB-50×12) の設置間隔：約450mm
7	ドライエリア屋根鋼板についても2-UE塗装でしょうか？	2-UE塗替とします。
8	南棟西面 鋼製建具DP塗装ですが、外部のみでしょうか？内外共でしょうか？	内外共とします。
9	図面A-06 C-C断面詳細図 □-1.2*50*50では、シーリングサイズが合いませんが□-1.2*15*15でしょうか？ シーリングサイズも10*10のままでもよろしいでしょうか？	角パイプ寸法は□-1.2*15*15とし、シーリングサイズは10*15としてください。
10	ドライエリア周り詳細図 平面詳細図屋根部 電気配管：屋根撤去・再設置時に固定金物から脱着の表記が有りますが、配管の種類及び固定金具の種類及び電気用途の詳細を指示ください、また工事中は一時取り外し部分の電気しようされますか使用される場合、仮設が必要でしょうか、あわせて指示ください	固定金具は配管支持用チャンネルを土台とし、サドルバンドと連結し固定しています。 また、配管の種類は空調用、波付硬質ポリエチレン管 (FEP管) 65φとなります。 なお、仮設は想定しておらず、取り外し後は一時的に支障とならない別箇所へ固定し再設置後に復旧とします。

質 疑 回 答 書 (設 計 図 書)

令和8年6月12日

工事名 京都工芸繊維大学（松ヶ崎）2号館南棟西側外壁改修工事

No.	質 疑 事 項	回 答
11	ドライエリア周り詳細図、A-A断面詳細図、屋根鋼板（ア）1.2：既存撤去のうえ、再設置ラワン合板（ア）5.5（耐水）：既存撤去のうえ、新設（曲げ加工）表記とありますが、屋根葺きの仕様詳細を御指示ください。（縦ハゼ葺きまたは、横棧葺くなど）また、既設ドライエリア屋根の下地材の取替もみ込んだ方がよろしでしょうか。	屋根葺きは図面番号A-06 C-C断面詳細図の通りです（鉄板敷き）。 屋根鋼板・新設のラワン合板ともにFB-50×12 2スパン程度ごとに分割された部材となっております。 なお、ドライエリア屋根材の撤去・新設または再設置の仕分けについてもA-06の通りとします。
12	付近見取図・配置図・2号館棟付近配置図、凡例 工事用電力引込位置（発電機使用可。ただし使用は必要最小限とし、騒音等付近の研究活動の支障とならないようにすること。）の表記ですが、工事外線引込の場合引込申請及び期間等で工事に支障をきたすので、大学構内より仮設電力、分岐使用させていただく位置等の詳細御指示ください。	現場説明書1ページ(3)②工事用電力の記載事項を正とし、図面番号A-01中の「工事用電力引込み位置」は「工事用電力分岐位置」と読み替えてください。
13	電気保安技術者を選任するとありますが、こちらの技術者においては下請業者所属の者でも問題ございませんでしょうか。	問題ございませんが、選任主体は受注者であり、配置義務は受注者に課されるものとなりますこと、ご承知おきください。
14	以下余白	